

登録コード	MA008600	開講年度	2026			
授業科目名	周麻酔期看護学実習Ⅰ				担当教員	田中 聡
英文授業名	Clinical Practice in Perianesthesia NursingⅠ				副担当	石田 高志・伊藤 真理子・石田 公美子・田中 竜介・丸山 友紀
単位数	4	講義期間	後期	曜日・時限	不定期	対象専攻／学年
講義室			授業形態	実習	授業科目区分	(周麻酔期) 必須科目
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇄	
	MS26カリ(医科学)・医科, MS25カリ(医科学)・医科, MS24カリ(医科学)・医科, MS23カリ(医科学)・医科					
	【医科学】基礎医学および臨床医学に対する基本的知識、技能および技術を修得し、自主的に検討することができる。				⇄	合併症のない全身麻酔・局所麻酔の一連の流れや麻酔の役割の範疇の診療について指導医の下で実践できる。
(2)授業の概要	合併症のない患者の麻酔管理と麻酔の役割の範囲全般について実習を通して学ぶ。 その中から周麻酔期看護師の役割や必要性について考える。 担当教員の麻酔・周術期医療を活かした実習指導を行う。					
(3)達成目標（一般学習目標GIO）	合併症のない患者の周麻酔期看護を科学的、安全性な看護方法で実施できるようになる。					
(4)達成目標（個別行動目標SBOs）	・合併症のない全身麻酔・局所麻酔の一連の流れや麻酔の役割の範疇の診療について指導医の下で実践できる。 ・合併症のない全身麻酔・局所麻酔や麻酔診療に伴う周麻酔期看護を科学的根拠に基づき、さらに安全に実施できる。					
(5)授業計画	手術部、術前外来や術後訪問、集中治療部、GCU、救命救急センターにおける実習を通し、周麻酔期看護師に必要な実践力、連携力や判断力、予測力などを広く身につけることができる。 1. 術前から術後の麻酔管理、看護の実際を学ぶ。 実習場所：信州大学医学部附属病院手術部、術前外来 2. 術前外来における麻酔前評価、麻酔方法の決定と麻酔方法の説明、術前指示 薬剤指示等患者指導について学ぶ。 ・麻薬処方、麻酔記録等の実際について見学を通し学ぶ。 ・病棟術後評価と術後回診、術後管理のポイントを学ぶ。 3. 集中治療の必要な患者の管理や救急の現場における患者管理を通し、周麻酔期看護師として必要な判断力や予測力等を実際を学ぶ。 ＊手術部、集中治療部、高度救命救急センター、GCU、術前外来、術後訪問等の実習を行う。 ＊実習日時・実習場所や内容は適宜通知する。					
(6)授業の進め方	実習、ディスカッション					
(7)履修上の注意・事前事後学習の内容	事前に必ず目標を明確にし、実習を行う。また、実習での学びを必ず30分程度復習をしてほしい。					
(8)成績評価の方法	実習内容80%、実習レポートならびに記録20%で評価を行う。					
(9)成績評価の基準	実習内容、レポート内容については(i) 実習目標や課題の設定が適切であり、(ii) その課題や目標を説明できており、(iii)課題や目標について実施できており、(v) その上で実施したことを評価できており、さらに周麻酔期看護学に応用できる力を身につけること。以上について教員を感心させるレベルにあれば「卓越している（秀）」、達成している場合は「かなり上にある（優）」、ほぼ達成していれば「やや上にある（良）」、実習を休まずに出ていれば「水準にある(可)」とする。					
(10)学生へのメッセージ並びに質問、相談への対応	質問、相談については適宜対応する。メールも可能。 麻酔科代表：masui@shinshu-u.ac.jp ・周麻酔期看護学学生対象科目 ＊内容が変更になることがある。					
【テキスト，教材，参考書】	適宜，紹介する。					